

第 91 回 スマイルグループホーム運営推進会議 議事録

日 時	2023 年 1 月 26 日 (木)
場 所	書面会議
出席者数	総数 10 名中 8 名
出席者 (敬称略)	
ご利用者	
欠席者(敬称略)	
書 記	

1.開会挨拶(省略)

2.実施について(書面会議)

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑み、今回は書面での会議とさせて頂きたく、
お願い申し上げます。ご質問、ご意見がございましたら、上原までご連絡ください。

【協議事項】

3.スマイル GH でのご入居者の方の生活状況と運営についての現状報告

稼働実績 2022 年 11 月 100% 12 月 100%

ご入居者介護度 要介護 1…2 名 要介護 2…4 名 要介護 3…2 名 要介護 4…1 名

4.事業の概要について

・紅葉狩り

醒井養鱒場へ紅葉狩りにお出掛けいただきました。こちらへは、皆さん、昔一度は訪れた
ことがある場所でしたので、懐かしそうに周囲を見渡しておられる方もおられました。11 月末
でしたが、この日はまだ暖かく、マスやチョウザメをご覧になって楽しまれたり、色づいた木々や
山々を眺めて、ゆったりとした時間を過ごしていただきました。

・米原市人権センタークリスマス会参加

12 月上旬、米原市人権センターで開催されたクリスマス会に参加いただきました。施設の
外のイベントへの参加は久しぶりでしたが、感染対策をしっかりとられていることを確認の上で
ご入居者の方をお連れしました。チンドン屋に扮したボランティアの演芸サークルの出し物、
江州音頭、ジャンケン大会、戦争体験の紙芝居の朗読などの出し物に加え、ケーキや
お菓子、クリスマスプレゼントを頂くなど、盛りだくさんの内容で、皆さん楽しんで下さいました。

・年賀状書き

ご入居の方々に、ご家族に宛てて年賀状を書かせて頂きました。筆やマジックをお使い
になられ、丁寧に新年のご挨拶をお書き下さいました。また、職員からも、ご入居の方々に
宛てて、心を込めて年賀状を書かせて頂きました。

・冬至

21 日の冬至の日の前後に、ゆず風呂にお入り頂きました。施設の庭の果樹園に実った
ゆずを収穫頂き、浴槽に浮かべると、とても良い香りが漂い、リラックスしてゆっくりと入浴を
楽しんで頂きました。

- ・スマイルグループホームクリスマス会

12月末に、クリスマス会を行わせて頂きました。サンタの仮装をしておの記念撮影、ツリーをモチーフにした玉入れゲーム、皆さん参加でのハンドベル演奏、松ぼっくりのクリスマスツリー作り等、様々な催しを行いました。職員扮するサンタさんからプレゼントをお配りした際は、皆さんとても喜んでおられました。最後にクリスマスケーキをお出しし、美味しく召し上がっておられました。

- ・フラワーアレンジメント

12月31日は、お正月に飾る生け花作りを行いました。土台となるオアシスに、花や南天、葉牡丹などお正月の花材を刺して、立派な生け花をお作り頂きました。他にも、正月の飾りつけを行い、新年を迎える準備をお手伝いいただきました。

- ・書き初め

1月1日は、皆さんに毎年恒例の書き初めをお願い致しました。「習字なんて、本当に久しぶりですね。」と話されながらも、「正月」や「初春」、今年の干支のうさぎ「卯」などを、筆で丁寧に書いて下さいました。

- ・お茶会

1月3日は、スマイルグループホーム新年会として、お茶会を行いました。皆様お一人お一人にお抹茶をたていただき、和菓子と一緒に召し上がっていただきました。その後は、カルタ取りや福笑いなど、昔懐かしいお正月の遊びを皆さんで楽しんでいただきました。

- ・職員2名、ご利用者4名新型コロナウイルス発症

1月4日、ご利用者2名に発熱、咳、倦怠感やいつもと違うご様子があり、近江診療所の往診を受け、検査の結果新型コロナウイルス陽性であることが判明しました。ご入居者2名を以後居室での対応とし、活動場所を分けるゾーニングを実施しました。防護服等を使用した介助に全面的に変更、施設内を消毒し、他のご利用者にも自室で終日お過ごし頂くこと（濃厚接触者として）をお願いしました。その後、6日にご入居者1名、職員1名が発熱により受診し陽性と判明、滋賀県の事業（EBS、イベントサーベイランス事業）による職員、ご入居者全員のPCR検査の実施により、新たにご入居者1名、職員1名が陽性であることが判明しました。最初に感染が判明したご入居者のうち1名は、居室での療養中に転倒、大腿部頸部骨折により入院となりました。職員は7日間の自宅療養、ご入居者3名は10日間居室での隔離対応とし、感染対策を継続しました。この後は、他のご入居者、職員への発熱等の症状は発生せず、17日より通常の状態に戻る事が出来ました。入院された方は、以後回復され23日にお戻りいただきました。

今回は、昨年8月よりかなり感染の広がりが早く、一度に複数の感染者の隔離対応を行うなど困難な状況もありましたが、職員の適切な対応と頑張りにより、収束に向かうことが出来ました。

6.その他・協議事項等

- ・グループホームでの事故、ヒヤリハット事例についてのご報告

11、12月の事例につきまして、事故報告が6件、ヒヤリハット報告が3件ございました。

事故報告の内訳として、お一人の方の怪我、転倒、ずり落ちによるものが4件、他のご入居者を叩く行為が2件となっています。ヒヤリハット報告の内訳として、薬の服薬ミスが未然に判明したことが1件、義歯が紛失しそうになったことが1件、異食しそうになられた（囲碁の玉）ことが1件ありました。事故報告については、いずれも男性ご入居者1名が関連するもので、他の方が怪我をされたりされることは無かったのですが、どのようにしたらこうしたことなく穏やかに過ごして頂けるのか、考えながらケアを行っています。併せて、セフィロト病院を受診いただき、専門の医師による薬の調整を行っていただいています。ヒヤリハットについては、薬を錠剤で飲むことが難しい方が2名おられ、砕いて飲み物に混ぜて提供するのですが、取り違えそうになった為、以後は必ず1名ずつ実施するようにしています。囲碁については、ルールは難しくとも楽しそうに並べておられた場面もあり、こちらの見守りをしっかりした上で提供していきます。義歯は、ご入居者が衣類ダンスに仕舞ってしまわれた事例があり、高額なものなので管理を改めて確実に行うよう統一しました。

以上